# 親切運動の取り組みについて

富山県立福岡高等学校
生徒数　３５３名

１　親切運動の取り組みの紹介

＜小・中・高校合同のさわやか運動＞

福岡小学校に中学生、高校生が集まり、合同であいさつ運動を実施している。生徒会執行部が代表で参加し、登校してくる児童に元気な声であいさつをしている。高校の生徒玄関前では、自治委員会が中心となり、保護者の方にも参加していただき、２日間さわやか運動を実施している。

＜クラス単位による美化活動＞

１・２年生がクラス単位で取り組んでいる活動で、５月から 11 月まで計６回実施している。清掃を行うコースは校地周りを１周するコースと、学校から福岡駅までの通学路コースの２つがある。清掃後はゴミの分別をして捨てている。

＜鯉の飼育＞

情操委員会では鯉の飼育をしており、餌やりの状況や鯉の様子を日誌に記入している。南砺福光高校の閉校にあたり、そこで飼育していた鯉を譲り受け、池は賑やかになった。しかし今年に入り、鳥に食べられたことに加え、夏の猛暑や病気のため、数は激減した。福岡町は鯉が有名なこともあり、新しく６匹を購入したので、以前のようなにぎわいが戻った。生徒の鯉観察日誌にも明るさが戻った。

２　親切運動に取り組んで

地域に出ていろいろな人と関わることで育まれる力は多い。本校が長年続けている地域交流活動は、生徒たちに多くの人との出会いを与えてくれる。生徒は地域のボランティアをとおして「コミュニケーション能力」、人から頼られることで「自己有用感」、そしてやり遂げることで「自己肯定感」を育成されているのではないだろうか。地域交流活動に参加することで、こうしたすばらしい力が身についてきた。

まだ、高齢者施設等へのボランティア活動ができておらず、地域の方々から喜んでもらえる上に生徒が成長する機会でもあるので、早く活動が再開できることを願っている。